

事前実務実習

<事前実務実習Ⅰ> ～ 実習時期:3年次後期 ～

【教育目的】

薬剤師の職能・使命を理解するとともに医療人としての倫理観やリスク管理能力を養うために参加者全員が効果的な討論・作業を行うことにより、一定の時間内に成果を生み出すための基本的な知識および技能を修得します。



<事前実務実習Ⅱ> ～ 実習時期:4年次前・後期 ～

【教育目的】

5年次行われる病院実務実習・薬局実務実習に先立ち、大学内で調剤、無菌操作、服薬指導などの薬剤師職務に必要な基本的な知識、技能、態度を修得します。

【学習達成目標】

1. 事前学習に積極的に取り組むために、病院と薬局での薬剤師業務の概要と社会的使命を解する。
2. 医療チームの一員として調剤を正確に実施できるようになるために処方せん受付から薬指導までの流れに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。
3. 処方せん上の問題点が指摘できるようになるために、用法・用量、禁忌、相互作用などを含む調剤上注意すべき事項に関する基本的知識、技能、態度を修得する。
4. 病院・薬局における医薬品の管理と供給を正しく行うために、内服薬、注射剤などの取扱い、および院内製剤・薬局製剤に関する基本的知識と技能を習得する。
5. 薬剤師業務が人命にかかわる仕事であることを認識し、患者が被る危険を回避できるようにするために、医薬品の副作用、調剤上の危険因子とその対策、院内感染などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。
6. 患者の安全確保とQOL向上に貢献できるようにするために、服薬指導などに関する基本的知識、技能、態度を修得する。
7. 病院実務実習、薬局実務実習に先立って大学内で行った事前学習の効果を高めるために、薬剤および服薬指導などの薬剤師職務を総合的に実習する。

＜患者シミュレーターシステム：フィジカルアセスメント実習＞

コンピューターで制御することにより、様々な病気を再現できる患者シミュレーターを使用したフィジカルアセスメント実習を行っています。この実習では大学卒業後、病院でのチーム医療や薬局での在宅医療患者さんから血圧、呼吸、心電図などのバイタルサイン（生命徴候）を聴診器を用いて収集し、薬の効果や副作用の早期発見ができる能力を身につけるために行います。

また、高機能患者シミュレーター実習では仮想患者に薬を投与して、このバイタルサインがどのように変化していくかについても観察します。

